



1 広沢っ子宣言と令和5年度の重点目標

- 宣言1 笑顔で気持ちのよいあいさつをし、マナーを守って行動します。  
重点目標：いつでも気持ちのよい挨拶をする子 (95%以上)
- 宣言2 相手を思いやり、友達にやさしくします。  
重点目標：友達を大切にすると子 (90%以上)
- 宣言3 自分の夢をかなえるために、進んで勉強します。  
重点目標：勉強が楽しい子 (85%以上)
- 宣言4 チャレンジしたことを最後までやり抜きます。  
重点目標：目標に向かって頑張る子 (95%以上)
- 宣言5 命を大切にし、けがや病気に気をつけて生活します。  
重点目標：健康やけがに気を付けて生活する子 (90%以上)

\* ( )内は重点目標に対しての数値目標

2 アンケート結果 (児童)

☆ 児童の評価

\* 集計結果は、「あてはまる」、「だいたいあてはまる」を合わせた数

	番号	設 問	R4	R5	数 値 目 標 との比較 (R5)
宣言1	1	わたしは 家族や友達、先生にいつでも気持ちのよいあいさつをしている。	91.5%	91.5%	-3.5%
	2	わたしは 正しく廊下を歩いて、落ち着いて生活している。	82.8%	81.4%	
	3	わたしは 学校のために進んで清掃や委員会活動に取り組んでいる。	83.6%	76.5%	
宣言2	4	わたしは 丁寧で温かい言葉遣いをしている。	87.6%	86.2%	
	5	わたしは 進んでかがやきレターを書いたり、友達のよいところを見付けたりしている。	76.1%	66.8%	
	6	わたしは いじめをしないで、友達を大切にしている。	93.9%	96.0%	+6.0%
宣言3	7	わたしは 勉強が楽しい。	78.9%	78.2%	-6.8%
	8	わたしは めあてをもって学習に取り組み、振り返りをしている。	83.0%	80.8%	
	9	わたしは 授業で自分の考えを伝えたり、友達の話をしっかり聞いたりして、考えを深めている。		86.5%	
	10	わたしは 図書室の本やクロムブックを使って、進んで調べたり、まとめたりしている。	84.0%	80.0%	
宣言4	11	わたしは 今の勉強がこれからの生活や将来に役立つと感じている。	91.8%	91.5%	
	12	わたしは 自分のめあてにむかってがんばっている。	93.2%	92.7%	-2.3%
	13	わたしは 行事や暗唱に向けて、一生懸命取り組んでいる。	92.4%	91.7%	
宣言5	14	わたしは 病気やけがに気を付けて生活している。	93.6%	92.5%	+2.5%
	15	わたしは 交通安全に気を付けて生活している。	96.2%	97.1%	
	16	わたしは 進んで運動したり、外で遊んだりしている。	78.5%	76.3%	
	17	わたしは お世話になっている保護者や地域ボランティアの方に進んで挨拶をしている。		90.8%	

<アンケート結果 (児童) を受けて>

- 広沢っ子宣言2「わたしは、いじめをしないで、友達を大切にしている」の数値目標を達成することができました。学習や生活、学校行事などを通して相手を思いやる気持ちが、子供たちの中に少しずつ育まれてきていることが分かります。
- 広沢っ子宣言5「わたしは、病気やけがに気を付けている」の数値目標を達成することができました。子供たち一人一人が、病気やけがの予防を意識して生活していることが分かります。
- 広沢っ子宣言1「わたしは、家族や友達、先生にいつでも気持ちのよいあいさつをしている」の数値目標には3.5%届きませんでした。気持ちのよい挨拶は、相手とのコミュニケーションを図るための基本となります。これからも、時と場に応じた気持ちのよい挨拶をする指導を根気強く行っていきます。
- 広沢っ子宣言3「わたしは、勉強が楽しい」の数値目標には、6.8%届きませんでした。これからも継続して、児童一人一人が主体的に取り組むことができるように、個別最適な学びを意識した授業改善をしていきます。

### 3 アンケート結果（保護者）

☆保護者の評価

\*集計結果は、「よくあてはまる」「ややあてはまる」を合わせた数

	番号	設 問	R4	R5	R4との比較
宣言1	1	お子さんは、家族や友達にいつでも気持ちのよい挨拶をしている。	88.4%	87.9%	-0.5%
	2	お子さんは、学級や学校のために、進んで清掃や委員会活動（5・6年）に取り組んでいる。		87.2%	
宣言2	3	お子さんは、友達に思いやりのある言動ができています。	96.6%	94.8%	-1.8%
	4	感動や体験の場が、お子さんの心の成長につながっていると感じる。	98.4%	99.5%	+1.1%
宣言3	5	お子さんは、勉強が楽しいと感じている。	76.6%	74.6%	-2.0%
	6	お子さんは、授業が分かりやすいと感じている。	91.5%	89.8%	-1.7%
	7	お子さんは、クロムブックを活用した授業をしていると話をしている。	85.6%	83.9%	-1.7%
	8	お子さんは、本に親しみ、図書を活用して調べ学習をしている。	65.6%	63.2%	-2.4%
宣言4	9	お子さんは、自分の目標に向けて粘り強く取り組んでいる。	85.9%	84.6%	-1.3%
	10	お子さんは、自分にはよいところがあると感じている。	90.6%	91.2%	+0.6%
宣言5	11	お子さんは、健康に気を付けて生活している。	92.7%	92.9%	+0.2%
	12	お子さんは、交通安全に気を付けている。	96.4%	95.5%	-0.9%
	13	お子さんは、進んで運動したり、外で遊んだりしている。	76.8%	76.0%	-0.8%
その他	14	学校は、積極的に情報を発信している。（各種たより・ホームページ・授業公開等）	97.5%	97.2%	-0.3%
	15	学校は、家庭と連携して教育活動にあたっている。（三者面談や学級懇談会、教育相談日の設定等）	98.4%	98.6%	+0.2%
	16	学校は、地域の教育資源（施設や人材）を生かすことで、子供の豊かな教育につながっている。		95.5%	

<保護者の皆様からの主な御意見>

◎体験活動について

- ・ウィズ蜆塚での体験は、多様性を認め合う時代に他者を考えるよいきっかけとなった。
- ・校外学習が充実していて、子供も保護者もいつも楽しみにしている。

○保護者の方のアンケートで、「感動や体験の場が、お子さんの心の成長につながっていると感じる」割合が、昨年度と比較して、約1%向上の99.5%になりました。教科間のバランスを考えながら、子供たちにとってよい学びとなるように体験活動を行っていきます。

◎学校行事について

- ・運動会、30分間回泳、音楽会、風っ子大会など、行事が盛り沢山で、学びと活動の機会を多く得ている。
- ・運動会、音楽会の開催を全校で土曜日・日曜日開催にしてほしい。

○子供一人一人の健やかな成長を第一に、子供の発達段階や熱中症対策・施設面・職員の働き方改革などを考慮しながら、学校行事を開催していきます。

◎体力向上について

- ・休み時間に自然と外に出て、元気に体を動かすようにもう少し推奨してほしい。
- ・体力づくり（運動）をこれまで以上に実施してほしい。

○昨年度より、特日課を減らしたことにより、外遊びの時間を確保しました。これからも継続して、外で体を動かす楽しさを子供たちに伝えていきたいと思えます。  
○生涯体育を念頭に、運動の楽しさを実感できる授業改善を行っていきます。

◎その他

- ・子供の個性に合わせ、寄り添いながら対応していただき、うれしく思う。
- ・学校のホームページや便りで随時きめ細やかに情報を発信していただいている。

○これからも子供の気持ちに寄り添い、個に応じた対応をしていきます。  
○三者面談や学級懇談会、教育相談日を活用して、保護者の皆様との情報交換を積極的に行っていきます。

#### 4 職員の評価

- 6年生を中心に挨拶を呼び掛ける取り組みが盛んに行われ、明るい挨拶が響き合うようになってきている。
- こちらから挨拶すれば、明るい挨拶が返ってくるが、子供たちから先に挨拶をすることが少ない。
- 全校で共通理解して「かがやきレター」の取り組みを行ったことにより、友達のよいところを見付けようとする意識が高まった。ただ、マナー化している部分もあるので、活用方法の工夫が必要である。
- 広沢小学校いじめ対策基本方針のもと、未然防止・早期発見に努め、丁寧な対応をすることができている。
- エンカウンターやピア・サポートの取り組みは、人間関係づくりやいじめ対応において有効であった。ただ、まだ十分に組み立てていない。
- キャリア教育の推進により、学びが自分の生活や将来とつながっているという意識が、職員にも子供たちにも浸透し始めている。
- 「個別最適な学び」や子供の主体的な学習のために、タブレット端末機をどのように活用していくか、もう一歩進んだ研修が必要である。
- 各行事とキャリアパスポートを連携させて取り組むことができ、目標を明確にして積極的に取り組む子が多かった。丁寧に振り返りを行うことが、子供の自信につながり、面談の機会を活用して保護者の方とも共有をすることができた。

#### 5 学校運営協議会による学校関係者評価

- 発達支援学級でのナッツの栽培・加工・試食の体験活動において、講師の方の生き方まで触れることができたように、他学年でも行われた地域人材を生かした学習は、人との関わりを学ぶとてもよい経験になった。
- 互いのよいところを認め合う、かがやきレターの活動を通して子供だけでなく、保護者自身も我が子のよさを知るきっかけとなった。
- いじめ対応について学校では、大変丁寧に取り組んでいることが分かった。失敗も含めた人との関わりは、子供の成長にとってとても大切である。
- 構成的エンカウンターやピア・サポートは、良好な人間関係を築いていくのに大切な取り組みであると思う。

#### 6 今後の改善方策

##### 目指す学校の姿 「大好き広沢 ～みんなの笑顔があふれる学校～」

子供も職員も幸せを感じて笑顔で生活し、そのわくわくした前向きな気持ちが、保護者や地域の方々も伝わり、笑顔がこぼれてしまう教育活動を推進する。そのために、キャリア教育と広沢っ子宣言との関連を図りながら、自分らしく生きていくための基礎的・汎用的能力を育てていく。

##### 【重点1】「かいけつする力」(課題対応能力)の育成

- 「勉強が楽しい」と感じる子を増やす。学ぶ意義や今の学びが将来につながることを理解して、主体的に学習に取り組ませる。また、ICT 機器(タブレット端末機)の積極的な活用により、子供の多様性に対応した「個別最適な学び」を推進し、授業改善に努める。
- 学校創立 90 周年を迎えることから、学校の歴史や地域のよさにふれる学習や活動を多く設定し、愛校心を育みながら主体的に学びに取り組む心を育てる。

##### 【重点2】「人とかかわる力」(人間関係形成能力)の育成

- 学校が子供にとって安心できる場所になるために、多様性を認め合い、人との関わりを大切にしながら、より良い対人関係を構築していく。構成的エンカウンターやピア・サポートの取組に加え、引き続き、いじめの未然防止、早期発見、組織的対応に取り組んでいく。
- 学校運営協議会のサポートによる学校支援活動や地域人材の確保をしていく。
- PTA 活動と連動して「広沢小見守り隊」の取組を推進し、大人同士や地域内でのつながりを深めていく。